

17日の建設港湾委員会の長岡ゆりこ市議の質疑の要旨を紹介します。

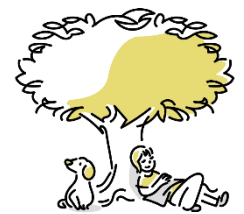
①街路樹・公園樹の伐採

市民の声は「緑を増やしてほしい」

長岡市議は、東淀川でも、SNS上でも「街路樹が根こそぎ取られて、ショックを受けた」、「木を切る改革」、「なぜ切らないといけないのか」などの疑問や不信があり、この声に大阪市は応えるべきと求めました。大阪市内では、「安全対策」を理由に19000本の木を切る計画があります。東淀川区の小松公園では、24本中8本の木が切られる予定です。危険箇所とは関係なく「間引き」が理由になっている木もあります。また、ほかの公園では、伐採した木の通路確保のための

伐採もあり、乱暴な伐採計画になっています。大阪市側は、一本、一本の木に、撤去時期と理由を貼紙し、丁寧な周知をしております。長岡市議は、市民が、計画の全体について情報が取得できるようにと提案。

長い時間をかけて育つ樹木に関して、市として緑化を進める観点での計画をすすめてほしいと求めました。



②アメリカ軍艦船の寄港

大阪港は平和利用に徹底を



アメリカの強襲揚陸艦「USSアメリカ」が20～23日、大阪港へ入港する問題をめぐっては、「大阪港の平和利用に反する」「核兵器の持ち込みについて確認したか」とただしました。大阪市は「平和都市宣言」とともに、非核三原則の国是を踏まえた「大阪港の平和利用に関する決議」を全会一致で採択しています。長岡市議は、「大阪港は平和利用を貫き、市として核兵器の搭載がないという非核証明書の提出を求めるべき」だとし、米軍艦船の入港は容認できないと強く訴えました。

③カジノ予定地の不当鑑定 市民負担のカジノ計画は中止に

夢洲・カジノ予定地の土地鑑定額が、不当に安い見積りがされている疑惑に対して、長岡市議は、鑑定業者側は「IR事業は国内実績がないから盛り込めない」としているが、カジノは前例がないとしても、ホテルや大規模展示場の併設が予定されているにもかかわらず、

反映されていないと指摘。価値の低い事業に多額の投資をしようとしているのか、カジノ業者を優遇し、公金・税金の市民負担が膨れ上がることが明白なカジノ計画は中止すべきと求めました。

お困り事、ご相談は
お気軽に長岡ゆりこ事務所へ
TEL 06(6323)2183